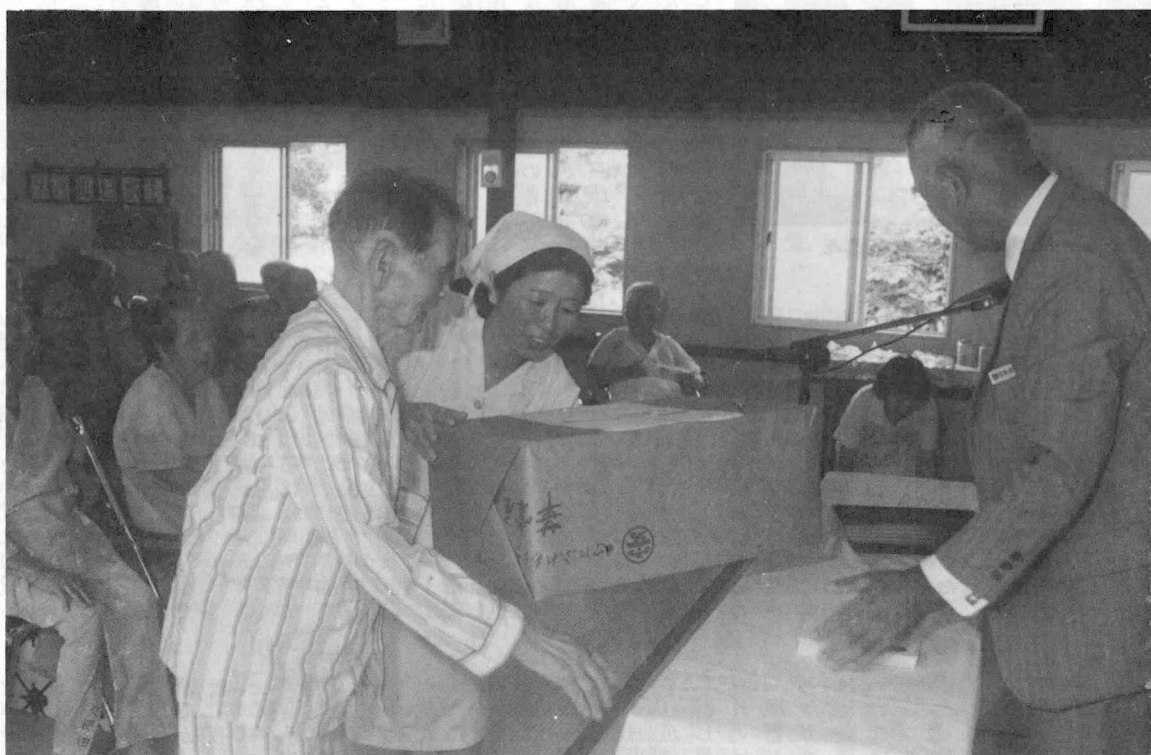




高齢者訪問

—敬老の日—

去る九月十四日、田代町、議会、婦人会の代表による敬老の日高令者訪問が実施されました。

今年の訪問対象者は二十人で、その内九十歳をこえる人が十四人もいらっしゃるといふことです。

田代町の最高令者は、南松園におられる朝倉己之助さんで今年ちょうど百歳になられたそうです。まだ自力で歩けるということで仲々元気でいらっしゃるようです。

どこの家庭を訪問しても、みなさんまだまだ元気で話され、記念品を送られ、また来年を楽しみにしておられる方もあり、たのしく思われる面もみられました。

いつまでも元気で、長生きされることをお祈りします。

(写真は町長から記念品を受けられる朝倉己之助さん)



アタックノ快進撃を続けたが今一歩及ばず

続サーブポイントで二十一対一で圧勝、コンビネーションよくストレートで薩摩町を下し三回戦大崎町と対戦である小川選手のプロック、玉泉選手の強打、中衛センター宮園選手のレシーブなどの活躍で十一ポイントと大差で大崎町に勝って準決勝進出となった相手の加治木町チームは攻撃型とも守備型ともいえない、つかみどころのないチームで闘いやすいチームと予想していたが、練習不足からくるスタミナに限り、中でも後衛折小野、右田、池田、徳永の各選手のレシーブでふんばったが十二ポイントでふんばったが二セット目はどうしても勝たなければと気合をいれて

突破の壁、東町と対戦した。内容は六対一と完勝であったが二回戦は吹上町に対し、苦しみながらも二対〇で辛勝し、選手もようやく緊張感がはぐれてきたが、準々決勝の準人町戦では、仲々得点できず、四回表にようやく一点を挙げリードして迎えた四回裏同点とされた後、ツーランホームランを打たれ、たちまち三対一と逆点された。そして迎えた最終回、一死後一番山ノ口がヒットで出塁、しかし二番南園の時、盗塁失敗で二死となり、ほとんどの者が試合をあきらめかけたが、監督の南園が意地を見せ四球で出塁続く三、四、五番に期待をかけた。三番大寺、四番上野ともヒットを打ち、一点差と

土地・建物の登記簿の見方

不動産の取引をするときなど、目的の土地や建物について、登記簿により権利関係のあるなしをあらかじめ調査することが必要になります。そこで、登記簿の仕組みとその見方などを説明しましょう。

選手名

平石真由美、窪園みき子、小川タツ子、玉泉さとみ、宮園里美、池田美津代、折小野まゆみ、右田鶴美、徳永みち子、林直子、監督 山下達郎

この青春でもう一度挑戦してみたいか。そして大いに羽ばたいてみよう。

(監督 山下敏郎)

う。

一、不動産登記簿の仕組み

不動産の登記簿には、土地登記簿と建物登記簿があり、それぞれ一定の様式を備えた用紙に、一筆の土地又は一つの建物について、それぞれ記載されています。

この登記用紙は、表題部、甲区及び乙区の各用紙からなり、各不動産のこれら登記用紙を簿冊としてつづつたものが登記簿で、土地登記簿にあっては、地番区域ごとに土地の地番の順序に従って土地の登記用紙が、また、建物登記簿にあっては、地番区域ごとに建物の地番及び家屋番号の順序に従い建物の登記用紙がつづられていきます。

二、登記用紙には、どんなことが記載されているか。

表題部の用紙には、土地又は建物の状況を表すいわゆる不動産の表示に関する事項、甲区用紙には、所有権に関する事項、所有権に關する事項として、所有権保存の登記、売買、相続などによる所有権移転の登記、順位保全のためにされる所有権に關する仮登記その他仮差押え、仮処分又は差押えなどのいわゆる処分の制限の登記などがある。

ります。

乙区用紙には、所有権以外の権利に関する事項

所有権以外の権利に関する登記としては、地上権、永小作権、地役権、先取特権、質権、抵当権(根抵当権を含む)賃借権、採石権の登記があります。

なお、この用紙は所有権以外の権利がないときは設けられていません。

三、登記簿の閲覧及び謄抄本の請求には土地、建物の地番等の把握が必要

登記簿を閲覧したり、登記簿の謄本若しくは抄本をとるには、登記所に備付けてある申請書用紙に書いて、手数料として閲覧は、一筆又は一個につき一〇〇円、謄抄本は一通三五〇円(一通の枚数が一〇枚を超える場合、超える枚数五枚までごとに一〇〇円を加算)を納付(収入印紙を申請書にはって納める)して請求しなければなりません。

更に、その土地や建物の所在を明らかにし、土地の地番や建物の敷地の地番及び家屋番号等を特定することが必要です。土地の地番や建物の敷地の地番等を正確に把握しないまま閲覧や謄抄本の申請を

しても、目的の登記簿を探し出すことはできません。

目的物件の地番等がはっきりしない場合は、あらかじめ登記済証又は前にもらった登記簿謄本等を見るか、役場の税務課で調べてから請求してください。

なお、登記簿の謄抄本は、申請書に手数料と郵便料を同封して郵便請求もできます。

四、なぜ登記をする必要があるか。

不動産の所有権その他物件の取得、変更、喪失については、その登記をしなければ、これを第三者に主張することはできませんので、売買などによって土地や建物の所有権を取得しても、登記をしなければ、第三者にその取得を主張することができないこととなります。また、所有権の取得の登記をしても、その登記前に既に第三者のために所有権に關する仮登記、仮差押え、仮処分、差押えなどの登記がされているときは、それらの権利の実行については、不動産の取引に當っては、これらの権利の登記の存否を事前に調査するほか、登記簿の乙区用紙にも、どのような権利の登記がされているかを、確認することが必要でしょう。

なお、詳細については、最寄りの登記所におたずねください。

田代町青年団快挙!!

一県青年大会で男子ソフトボール優勝

女子バレーボール第3位一

県下の青年が一同に会し、体育文化の日常活動を通じて培った体力、演技力等を競うことにより、郷土の輝かしい発展の推進力を生み、豊かな郷土づくりを自覚しようというねらいのもとで、さる九月三日、四日の両日実施された県青年大会において、田代町連合青年団は、男子ソフトボール並びに女子バレーボールに出場することになった。

男子ソフトボールは、過去二回出場しながら、一昨年は一回戦敗退、昨年は優勝チーム加世田市に準々決勝で抽選の末敗退という屈辱を味わい今年こそはと、南園監督以下全選手が一丸となって優勝という二文字に向けて練習を重ねていった。

さて、いよいよ九月四日、大会当日、全選手緊張しながら出場二十チームの中、初戦



初優勝を成し遂げた面々

突破の壁、東町と対戦した。内容は六対一と完勝であったが二回戦は吹上町に対し、苦しみながらも二対〇で辛勝し、選手もようやく緊張感がはぐれてきたが、準々決勝の準人町戦では、仲々得点できず、四回表にようやく一点を挙げリードして迎えた四回裏同点とされた後、ツーランホームランを打たれ、たちまち三対一と逆点された。そして迎えた最終回、一死後一番山ノ口がヒットで出塁、しかし二番南園の時、盗塁失敗で二死となり、ほとんどの者が試合をあきらめかけたが、監督の南園が意地を見せ四球で出塁続く三、四、五番に期待をかけた。三番大寺、四番上野ともヒットを打ち、一点差と

した後、今大会一、二回戦とあたりの出なかった五番別府が初球をレフトオーバーのスリーランホームランという劇的な逆転打を打ち、その裏一点を取られたものの五対四で辛勝した。

準々決勝で逆転勝ちし、波にのった田代町は、準決勝で同じ肝属地区代表の東串良町をエース柳田の力投で四対〇と完勝、いよいよ決勝戦を迎えた。

対戦相手は、くしくも昨年準々決勝で抽選負けした加世田市となった。全員、最後の力をふりしぼって試合に臨んだが、内容は意外な大差となり、九対二とコールド勝ちで加世田市を下し、念願の初優勝をとげた。

戦い終り、目標としていた優勝を成しとげて、全員満足にみちた笑顔でいっぱいであった。

ここに皆様方の絶大なる御協力と声援に対し感謝し、厚く御礼申し上げます。また今後とも青年団活動に対し御協力を御指導をよろしくお願い致します。(事務局長、舞原利博)

七月十日、日曜日肝属郡青年大会で女子バレーボール部

で準優勝のかがやかしい成績をおさめ県青年大会の出場権を獲得した。

七月十七日に開催される肝属郡民体育大会に向けて四月八日から毎週金曜日、田代分校で夜間練習した女子バレーボールチームが中心になって青年大会出場と相成った。

チームのメンバーは十九歳から二十五歳で平均年齢二十一歳という若さと活気あふれる美人揃いのチームではあるが、すべての選手が勤め人で勤務終了時間がまちまちで練習時間の調整に苦慮した面もあったが、十人ぎりぎりの選手で練習日も週四回に増やして一日でも全員集合の体制づくりができるよう配慮しながらむし暑い体育館の中で汗まみれのはげしい練習が続いた練習がはげしくなってくることは当然予測しておかなければいけない。そんな中で風邪気味やつき指などの選手が出はじめ、個人の健康管理について重大さを感じる選手もいたスポーツをやる以上、自分の健康管理や技術向上のための努力はいやがうえにもやらなければならないのである。

郡民体育大会も準決勝で涙

をのんだ。

試合数が増えてくるにつれ体力の消耗がはげしくなるしスタミナがなくなってくる。これを解決するには日頃の練習で耐えるしかない。

八月二日、いよいよ九月四日県青年大会への照準をあわせ練習の再開であった。

仕事の都合や旅行、あわせで夏バテ選手も出てきて充分の練習も出来ないまま大会当日を迎えた。

九月四日、午前六時起床、七時三〇分宿舍出発、鹿児島市民体育館へ向った。

三面のコートがあざやかにひかれてすでに大会の熱気につつまれていた。

県下二〇チームの各郡代表が揃って、見るからにどのチームも大型選手揃いで強敵ばかりである。

我がチームは一回戦は不戦勝と抽選運に恵まれた。

金峰と薩摩の勝者が相手であるが、いづれも相手に不足はない。薩摩町が相手となつて試合開始の吹笛がなつてサーブ一番石選手がファーストサーブが決まってポイントをあげるや連続九点をサーブでかせいだ。続く窪園選手も連

(三ページへ続く)

秋の行政相談週間10月16日～22日
行政にあなたの声を生かしましょう

十月十六日から二十二日まで「秋の行政相談週間」が行われます。

わたしたちが毎日の生活の中で行政に対して持っている苦情や意見、要望などを聞き、公平・中立な第三者の立場でその一つ一つについて問題の解決を図り、行政の改善に役立てていく。

それが、「行政相談」です。

△行政相談の重要性▽

制度が発足したのは昭和三十年。今では、わたしたちの生活に欠かせないものとなりました。ことに最近のように社会構造が複雑になると、さまざまな問題が新たに生まれ、その解決を「行政相談」に求める例が増えてきます。これからは、行政相談の果たす役割の重要性は、ますます高まっていくといえるでしょう。

こうした「行政相談」の活動内容を、一人でも多くの方に知っていただき、役立ててもらおうため、春と秋の二回に「行政相談週間」が設けられています。



行政は、わたしたちの日常生活のいろいろな分野で密接にかかわっています。道路や公園、駅など公共の場での安全の問題、騒音や悪臭など環境の問題、公共交通機関に対する苦情、社会保険、福祉にかかわる要望、公共施設の窓口事務に対する注文……。

これらにこたえ、行政運営に反映させることが、明日のより良い社会へとつながるのです。

相談される方の名前や相談内容についての秘密は守られます。

健康だより
「成人病時代の健診」の受け方

今日では、多くの伝染病はほぼ制圧され、その結果として成人病（脳卒中・ガン・心臓病など）が国民の健康問題として重視されるようになりました。したがって伝染病時代と同じ考え方や態度では、健康な生活は送れません。伝染病の多くは、激的な症状で発病し、しかも一分一秒を争って早急に医師の治療を受けなければ命取りとなることが多いです。一方成人病と呼ばれる高血圧・ガン・心臓病・糖尿病などは、ほとんど自覚されることのないままに発病し、しかも慢性的経過をたどって症状が進むのが特徴です。慢性的経過とは、病状が好転したり、悪化しながら長期間の経過をたどると言うことであり、したがってその間に年令も加わり、自覚された症状が「年のせい」なのか、「病気のせい」なのか、区別がつかれることが多いのです。

（健康手帳はあなたの身体の目標）

このような場合、定期的に受診している健康診査の結果

が継続的に保管されていると、最も決定的な判断材料となります。しかも、成人病の場合は、医学的な治療を受けていても、一度発病すると、しだいに病状は進行しますが、年令と共にその進行は遅くなり、またその中で生涯をその成人病と仲良く生活することも可能なのです。ですから成人病時代と言われる今日の健診の受け方は、定期的にしても継続して受診し、その結果を記録、保管するということが最も大切になるわけです。そこで町では健診の結果の記録保管のために、老人保健法に基づいて「健康手帳」を交付しています。七十歳以上の人は、これを持っていかなければ病院にかかれないうきみになっていきます。又四十歳以上六十九歳の人でも町が実施した成人病検診等を受診した人等には健康手帳の交付をしています。健康手帳をあなたの身体の日記帳として病院にかかった時や健康診断を受けた時などには必ず記入するくせをつけ、大いに活用し、自らの健康は自ら守り心がけるようにして欲しいと思います。

人口のうごき		前月の増減	
基本	台帳	人口	増減
58年	9月1日現在		
男	2,112人	△	3人
女	2,304人	△	2人
計	4,416人		1人
世帯数	1,470戸		0戸

戸籍に関する情報は

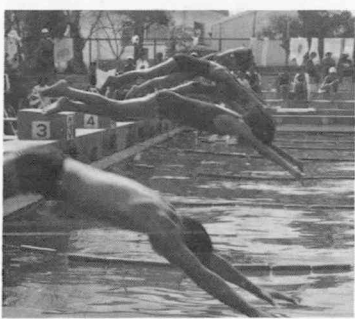
ホームページ上では

掲載していません

教育だより

新記録続出ノ校内水泳大会

田代小学校



今年の校内水泳大会も好成績を残して幕を閉じた。

夏の間、プール開放や、水泳スポーツ少年団の特訓で、技量、力量ともにめきめきと上達し、地区記録大会でも上位入賞を果たす活躍ぶりであった。

今年の水泳期間中も無事故で、泳ぎ納めができて嬉しい限りであった。これも、児童の体力と泳力が向上していることを物語っている。

校内水泳大会では、次の六個の新記録が出た。

- 六年 持増健作（男）
- 五十m自由型
- 五十m平泳ぎ

- 二十五mバタフライ
- 四年 岩戸優子（女）
- 五十m平泳ぎ

学級対抗リレー

三年男（篠原、海田、小牧、富尾）

六年女（宮園、舞原、市来、近川（か））

※手作り心の心※

九月十一日に父親参観を実施した。今年は親子工作教室になっていたので、

一年 水てっぽう

二年 空気てっぽう

三年 竹馬

四年 竹とんぼ

五年 はし

六年 竹ぼうき

をそれぞれ学年に応じて、校庭いっばいにひろがり、親子肩を並べ、真剣なまなざしで作りのオモチャ作りに取り組んだ。

かねて、手作りのオモチャに接する機会や、ナイフを使うことも少なく、自分で楽しい生活をつくりだそうとする子ども達に、指南役の親は、オモチャや日用品の作り方、遊び方を伝授した。

製作過程では、ぎこちない手つきで、親子とも汗だくの活躍ぶりで、中には母親がは

いりこんで父親顔負けの指南ぶりを発揮する光景もみられた。

出来上がりは上々で、子どもの顔に思わず喜びがほころんだ。足長オジサンまがいの竹馬や、上に飛ぶはずの竹とんぼが下にいたり、校庭いっばいに歓声がこだました。

子ども達は汗を流しながら楽しんだ工作に満足し、いつまでも「手作りの心」を大事に温めていくことだろう。

このあと、親の学級対抗ソフボールは、手に汗をにぎる熱戦の末、四年生が三年生の三連勝をはばみ、見事優勝を成し遂げた。

父親は充実した一日を過ごした。

岩石観察園完成ノ

大原中学校

本校では去る八月二十四、二十五日の両日、先生方のご協力により岩石園が完成しました。

構想の段階では、地形図と組み合わせた大規模な岩石園を検討しましたが、スペースや技術の面から「簡単に良いから、とにかく形あるものを」ということで、取りかかるといししました。

岩石は、以前から理科室の

前に置いてあったものと、遠くは、川内、阿久根から運んだ石もあわせて、10余りを並べました。石の運搬で車にのせる時は、確かに一人で積んだ石も、降ろす時は、一人で持ち上げられないという貴重な石もありました。

製作の先生方は左官は初めてという方ばかりで、本職の方々の技術にホトホト感心しながら、無器用にセメントをぬりつけることでした。

岩石園の正面には「岩石観察園」と書いた看板があり、その裏に岩石名が書いてあるので、考えながら岩石の勉強ができるように工夫されています。また大きな石の下段には、岩石を肌で感じられるようにというので、やや小さな石が入れてあり、自分でハンマーをもち、自由に割ってみることができるようにしてあります。

この岩石園を生徒達が大切に利用し、岩石に興味を持ち続けてくれる者が一人でも多からんことを切に望むところです。

家庭と学校のかけ橋

―学級通信―

「稲尾岳」は現三年生が二年に進学した時創刊され、す

でに六〇号を数え編集方針も確定してきています。三人の生徒の編集委員が中心となり、生徒一人一人が記者となり、行事、日々の生活の様子、学級員の声は勿論のこと、企画記事の「ぼくのPRコーナー」「ここがポイント」の学習コーナーなど楽しい内容を含む学級新聞となっています。五八年度に入り始まった「郷土を興す人々」のシリーズは「茶作り二三年」のKさん、「商店経営」のM子さん、「教職に苦学して立つ」A先生、「養蚕」のNさんなどのルポが続く、現在の大原を下から支えている人々の苦勞を知り、身近な郷土を私たちが見直すことの大切さを教えてくれたようです。

五八年度はこれに続いて一年生の「ひまわり」二年生の「学級通信」が発刊され、それぞれ二二号、二〇号を重ねています。「ひまわり」からは新入生がしだいに中学生らしく育つ姿がうかがえます。二年の学級通信は生活日誌、班日誌から子どもの姿や意見をPTA・Aグループ・ノートから父母の声を紹介し、学校と家庭のかけ橋たろうと努力しています。

[illegible]